

令和6年 第867回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和6年5月17日(金)		開会 15:30 閉会 17:00		
開催場所	市庁舎4階401会議室				
出席委員	窪田教育長	上田職務代理者	村上委員	坂下委員	
欠席委員	桂田委員				
事務局	谷教育部長	畑田教育部次長	日比野生涯学習 スポーツ課長	松宮主幹	井上課長補佐
	赤崎課長補佐	安田企画主査	大橋指導主事		
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p>委員会開会</p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <p>今年度も各学校がスクールプランに沿いながら、それぞれの取り組みを進めている。特に今年度は「学校DXの推進」を最重点目標に掲げ、国のリーディングDXスクール事業の指定校である雲浜小学校と小浜中学校を中心に、市内全小中学校で学校DXの推進にあたっている。教頭会を中心とした学校DX推進組織の部会においても、これまで無かったチャット機能を使ったやり取りが増えてきており、大変嬉しく思っている。市教委からのトップダウンで進めるのではなく、現場からどんどん学校DXを進める動きが出てくるのが望ましいと考えており、各学校の取り組みに期待している。</p> <p>今年度、教育委員会が所管する重要課題は他にも多くあるが、一つ一つ丁寧に進めてまいりたいと考えている。委員の皆様のお力添えをお願いする。</p> <p>1 会議録の承認について</p> <p>第866回教育委員会定例会会議録 <承認></p> <p>会議録署名人2名の選任</p>					

第867回教育委員会定例会会議録署名委員選任 《上田職務代理者、村上委員》

2 報告

- ・報告第9号 諸般の報告 令和6年4月19日～令和6年5月16日
行事予定 令和6年5月17日～令和6年6月30日 《承認》

教育長 5月22日に開催される市町教育長会終了後、各都道県に最低一つは設置することとされている夜間中学校の第1回開設連絡協議会が開催される。福井県においても夜間中学校の開設に向けた協議が本格的にスタートする。

3 議案

- ・議案第6号 令和6年度6月補正予算の要求について 《承認》

上田職務代理者 リーディングDXスクール事業の報償費は、1年間を通しての講師謝礼の金額か。

事務局 事業が完了する2月までに、何度か研修会等を行うための講師謝礼である。

上田職務代理者 事業の予算金額は国から指定されているのか。

事務局 事業費の上限額が100万円と決められている。

教育長 機材やソフトウェアの購入費用は事業費として認められていないため、研修会の講師謝礼や先進地視察の旅費などを計上している。

坂下委員 学校の修繕や改修は、雨漏りなど緊急対応が必要な状況が発生してから補修しているが、小中学校は老朽化している施設が多く、事後補修は手間もコストもかかるので、ぜひ計画的に修繕を行うことで、トータルコストの削減を図っていくことを考えていただきたい。

事務局 毎年、各学校の修繕や改修が必要な箇所を確認して優先順位を決め、緊急性の高いものから順に修繕を行うとともに、振興実施計画で認められた改修を順次行っているが、どうしてもそれ以外に緊急的な補修の必要箇所が出てくる状況である。できるだけ計画的な改修を行えるようにしていきたい。

- ・議案第7号 令和6年度小浜市男女共同参画推進協議会委員の推薦について

上田職務代理者 昨年度の委員であった桂田教育委員が本日欠席であるが、今年度も引き受けていただくと大変ありがたい。

村上委員 桂田委員にお引き受けいただけない場合は、私が交代させていただく。

事務局 事務局から桂田委員にご意向を確認させていただく。

≪5月20日(月)桂田委員へ意向を確認。推薦の承諾を得て、各教育委員へ報告≫

- ・議案第8号 専決処分につき承認を求めることについて≪承認≫

4 教育長報告

- ・学校DX進捗状況調査の結果について

本市において学校DXを推進していくにあたり、それぞれの学校が課題を明確にしながら取り組みを進めてもらうことを目的に、学校DX進捗状況調査を行った。

現在、調査結果の分析を進めている。今後は各学校へ分析結果を返し、それぞれの学校において課題の明確化と取り組みに役立ててもらいたいと考えている。

校長に対する調査の結果をみると、授業でのICTの活用はかなり進んできたと捉えている校長が多い。今後は授業以外の教育活動、例えば委員会活動や生徒会活動、部活動などにおいてもICTを活用した取り組みを進めていくことが課題であると捉えていることが分かる。また、校務におけるICTの活用については、9割の校長が教職員の負担軽減に繋がっていると認識している。研修については、特に情報リテラシー教育や情報モラルの研修が今後は大きな課題になると考えられる。

教員に対する調査では、授業やその他の教育活動を進めていく上でDXが不可欠であると回答した教員が8割を超えている。一方で、DXの必要性をあまり感じていないと回答した教員が約2割おり、その内訳は圧倒的に50代が多い。また学校によるばらつきも見受けられる。そういった結果を各学校に返していきたいと考えている。校務に関しては、授業以上にDXが不可欠だと捉えている教員が9割を超えている。特に若手教員を中心に研修や会議でチャット機能を使っ

たやり取りがどんどん増えており、非常に良いことだと思っている。

これから大人になる子どもたちにとってDXは避けては通れないものであり、学校だけが社会のDXの流れから取り残されることが決してないようにしなければならない。今回の調査の分析結果については、まとめ次第説明させていただきたいと考えている。教育委員の皆さんが調査結果から読み取られた点やお気づきの点があれば、お教えいただくと大変ありがたい。

5 その他

なし

委員会閉会

(教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 上田 俊彦 教育長職務代理者

委員 村上 郁子 委員